令和6年度職員採用選考試験（第1回）
獣医師 専門記述試験（6.6.16）

= 課 題 =

○ 越境性動物疾病（豚熱）について

豚熱は「国境を越えてまん延し、発生国の経済、貿易及び食料の安全保障に関わる重要性を持ち、その防疫には多国間の協力が必要となる疾病」と定義される「越境性動物疾病」の代表例です。

我が国における豚熱は、平成4年（1992年）を最後に発生がなく、平成18年（2006年）からワクチン使用を完全中止し、平成27年（2015年）には国際的に清浄国の認定を受けました。

しかし、平成30年（2018年）、26年ぶりに豚熱が国内発生し、令和5年度末までに、165農場で約36.9万頭が処分対象となりました。

現在、広島県では発生していませんが、予断を許さない状況となっているこの「豚熱」に関し、次の設問すべてに答えなさい。

- 1 豚熱の症状及び病変について、できるだけ多く記述しなさい。
- 2 豚熱ウイルスの伝播に関し、次の2つの問いに答えなさい。
 - (1) 国内への侵入経路として考えられているもの・こと
 - (2) (国内に侵入した後の) 農場への侵入経路として考えられるもの・こと
- 3 現在、我が国が実施している豚熱発生予防対策について、設問2も踏まえ、できるだけ多く記述しなさい。
- 4 我が国にとって豚熱以外の越境性動物疾病として重要な疾病を1つ挙げ、症状、病変など知るところを記述しなさい。